令和 6 年度文化財保護事業報告

1 文化財保護審議会（年 1 回開催）

「清須市文化財保護条例」（平成 17 年 7 月 7 日条例第 85 号）、「清須市文化財保護条例施行規則」（平成 17 年 7 月 7 日教育委員会規則第 31 号）に基づいて設置。

2 文化財保護関連予算

（単位：千円）

区 分	令和 6 年度予算額	令和 5 年度予算額
教育費総予算	4,127,052	4,279,281
社会教育費	613,199	761,179
文化財保護費	20,438	24,701
文化財保護審議会委員報酬	67	67
文化財保護事務費	212	208
文化財保護事業費	655	232
指定文化財補助金	11,340	15,579
西枇杷島問屋記念館費	6,725	7,149
歴史資料展示室費	1,439	1,466

3 文化財保護

時代推移の中で先人が残した貴重な文化財を後世に残すべく、郷土の歴史の特徴をあらわした文化財資料を中心に保存と保護を図る。

(1) 文化財の指定

清須市内の指定文化財は国・県・市指定を含めて 35 件（国指定 2 件、県指定 3 件、市指定 29 件、国登録 1 件） ※「参考資料」指定文化財等一覧参照

(2) 埋蔵文化財の保護

清須市内には、弥生時代最大級の集落とされる朝日遺跡、清洲城下町遺跡等が存在し、清洲地区を中心に埋蔵文化財包蔵地が広く分布しており（「参考資料」遺跡一覧参照）、埋蔵文化財包蔵地の周知、有無の確認、発掘に係る届出の受理、発掘調査等の実施等を行っている。

●令和 6 年度発掘調査等に係る届出件数（令和 7 年 2 月末日現在）

93 条届出	94 条通知	有無照会	確認調査	発掘調査
122 件	11 件	3 件	3 件	2 件

※ 93 条届出：民間開発に伴う届出、94 条通知：公共事業に伴う通知

※ 93・94条届出の内訳

朝日遺跡4件、清洲城下町遺跡121件、土田遺跡2件、廻間遺跡6件、
外町遺跡1件、小田井城跡0件、西田中遺跡1件

*員数2（清洲城下町遺跡、廻間遺跡）2件

① 発掘調査

No.	遺跡名	所在地	調査原因	調査期日	事業面積(m ²)	調査面積(m ²)	調査概要
1	清洲城下町遺跡	一場地内	区画整理	R6.5.7 ～ R7.1.17	約102,000	713	区画溝、井戸、土坑等
2	清洲城下町遺跡	清洲地内	駐車場等整備	R7.1.23 ～ R7.2.6	1,984	約60	堀、溝等

② 確認調査

No.	遺跡名	所在地	調査原因	調査期日	事業面積(m ²)	調査面積(m ²)	調査概要
1	清洲城下町遺跡	西市場地内	宅地造成	R6.9.18	367.88	約10	溝?・土坑
2	朝日遺跡	朝日貝塚地内	建売住宅	R6.10.9	437	約10	溝、弥生土器等
3	清洲城下町遺跡	清洲地内	宅地造成	R7.2.12	1232.75	約8	井戸・土坑等

(3) 寄贈文化財関係資料の受け入れ

文献資料、民具資料等の資料の寄贈の受け入れを行った。

●令和6年度実績（2件・377点）

（令和7年2月末日現在）

No.	寄贈期日	寄贈者	寄贈資料概要	寄贈点数
1	R6.6.14	個人	古文書、日本刀他	182
2	R7.2.26	個人	アルバム、書籍他	195

(4) 文化財の修繕

① 問屋記念館（市指定文化財）

問屋記念館ジオラマ模型修繕、問屋記念館案内看板、漏水修繕等を実施。

② 箕浦コレクション

掛軸2幅の修繕（再表装）を実施。

4 啓発活動

生活様式及び社会環境の変化の中で、失われていく文化遺産（埋蔵文化財・史料・民俗・環境・自然等）の大切さを理解し、文化財愛護と保護活動への意識向上を図る。

(1) 歴史資料展示室における資料の公開

市立図書館内歴史資料展示室において、市の歴史を概観できる常設コーナーとより深いテーマ性を持つ展示を行う企画コーナーを設け、市民に親しみの持てるわ

かりやすい展示をめざす。

①企画展「清須・美濃路界限と匠—ものづくりアーカイブ—」

- ・会 期 令和6年4月20日（土）～7月21日（日）
- ・展示内容 昭和30～40年代を中心に美濃路の職人たちが使用した道具類や製品を展示し、当時の暮らしや街の様子、ものづくりの原風景の一端を紹介。
- ・入室者数 4, 221人

② 企画展「箕浦コレクションの世界IV—中京画壇—」

（市立図書館大規模改修工事による休室のため中止）

- ・会 期 令和6年9月～12月

③ 企画展「子どもたちの世界—学び・遊び・育ち—」

- ・会 期 令和6年12月14日（土）～令和7年3月23日（日）
- ・展示内容 昭和から平成初期の子どもたちが、子どものころ親しんだ教科書・教具・おもちゃ類を中心に展示し、当時の子どもたちの遊びやその変遷、暮らしぶりを紹介。
- ・入室者数 3, 684人（令和7年2月末日現在）

(2) 文化財講座・講演会

① 文化財講座

- ・会 場 清洲市民センター 3階302視聴覚室
- ・受講者数 延べ180名

回	期日	受講者数	内容	講師（敬称略）
1	R6. 6. 27	49	「道中記」からみた江戸時代の宮・桑名間の旅	元愛知県史調査執筆委員 石田 泰弘
2	R6. 7. 25	44	深掘り！あいち朝日遺跡ミュージアム企画展「鳥に願いを」	あいち朝日遺跡ミュージアム 学芸員
3	R6. 8. 22	41	大須今昔～大須はいかにして名古屋最大の繁華街となったのか～	OASIS都市研究所 代表 杉野 尚夫
4	R6. 9. 26	46	近世地誌・絵図類からみた後期清須城下町	愛知県埋蔵文化財センター 調査課 鈴木 正貴

② 文化財講演会

- ・講演名 『記憶遺産「銅鐸埋納」 巨大集落朝日遺跡、集落再生と滅亡へのストーリー』
- ・講師 赤塚 次郎氏（特定非営利活動法人古代瀬波の里・文化遺産ネットワーク理事長）
- ・期 日 令和6年12月7日（土）
- ・会 場 清洲市民センター 2階201集会室
- ・内 容 東海地方屈指の弥生集落遺跡の朝日遺跡で出土した「朝日銅鐸」を手がかりに、これまでの研究成果をもとに朝日遺跡の盛衰を考

察する。

- ・参加者数 61名

③ 古文書講座

- ・テーマ 「初めて読む古文書講座」
- ・講師 毛利孝一氏（元西枇杷島町文化財調査委員）
- ・期 日 令和6年11月21日（木）、12月19日（木）
令和7年1月16日（木）、2月20日（木）
- ・会 場 清洲市民センター 3階302視聴覚室
- ・内 容 初めて古文書に触れる方が、仮名文字や数字など基礎的な内容から学び、地元に関係する古文書を読むことで地域の歴史に触れる。
- ・受講者数 延べ105名

④ サタデーキッズクラブ

- ・テーマ 「山車にふれよう」
- ・講師 問屋町町内会
- ・期 日 令和6年5月25日（土）
- ・会 場 問屋町集会所
- ・内 容 山車の見学やからくり人形・お囃子の体験を通して地域の伝統文化に触れる。
- ・参加者数 20名

(3) あいち朝日遺跡ミュージアム関係事業

サタデーキッズクラブや文化財講座等の開催、市広報・ホームページ等での周知など連携を図り、大人から子どもまでの幅広い年代に対して朝日遺跡をはじめとした地域の歴史・文化財の周知を図るとともに、「あいち朝日遺跡ミュージアム」の周知・機運の向上に寄与する。

① サタデーキッズクラブ

「朝日遺跡探検隊」

- ・期 日 令和6年10月5日（土）
- ・場 所 あいち朝日遺跡ミュージアム
- ・内 容 朝日遺跡を探検する。
- ・参加者数 10名

② 歴史講演会・ミニシンポジウム（共催事業）

- ・講 師 深澤芳樹氏（奈良文化財研究所客員研究員）
講演「デザインの時間軸—安城市亀塚遺跡と赤彩堅櫛」
河嶋優輝氏（愛知県埋蔵文化財センター調査研究主事）
研究発表1「亀塚遺跡とその周辺～弥生時代終末期から古墳時代
初頭を中心に～」

大熊久貴氏（明治大学文学部助手）

研究発表2「櫛からみる弥生時代の終焉と古墳時代の幕開け」

- ・期 日 令和7年2月2日（日）
- ・会 場 清洲市民センター ホール
- ・内 容 亀塚遺跡（安城市）出土の優品、赤彩された竪櫛資料をめぐり、これまでの研究成果と新見解を重ねつつ弥生時代から古墳時代のデザインの移り変わりとその背景について探る。
- ・参加者数 106人

(4) 文化財関係刊行物の販売

生涯学習課で刊行物の販売を行っている。（「参考資料」刊行物一覧参照）

(5) 歴史文化振興事業

平成19年度に新川町史編さん事業終了後、清須市で所蔵する資料の調査・整理作業を継続して行っている他、歴史資料展示室の企画・運営等を行っている。

5 施設管理・運営

各方面からの寄贈により収集された貴重な文化財資料の保存・管理に努めるとともに、それらを整理・展示して広く一般公開を図る。

西枇杷島問屋記念館

- ・名 称 清須市西枇杷島問屋記念館
- ・所 在 地 清須市西枇杷島町西六軒20
- ・面 積 敷地面積 1,391.55㎡ 延床面積 151.62㎡
主屋 98.82㎡ 離れ 52.80㎡
- ・構 造 木造2階建
- ・開 館 平成5年4月
- ・概 要 「下小田井の市」の創始者の一人といわれる山田九左衛門家の住居を平成4（1992）年に、移築復元したもの。明治初期に建てられ、美濃路を形成してきた町家の中でも江戸時代の青物問屋の様式を伝える貴重な建物。
- ・開館日数 307日予定
- ・休館日数 58日
- ・入場者数 2,520人（令和7年2月末日現在）

6 指定文化財補助

市指定文化財（個人等管理）に対し、修理・管理・公開について補助を行う。

- (1) 修理費補助 有形民俗文化財（山車） 3件
- (2) 管理費補助 ① 有形文化財 7件

- ② 有形民俗文化財（山車） 6 件
- (3) 公開費補助 有形民俗文化財（山車） 14 件（尾張西枇杷島まつり、小学校校外学習等、愛知山車まつり協議会総会）
- (4) 文化財関連団体（西枇杷島町山車保存会）
- ・目的 西枇杷島に所在する山車の保存・管理、尾張西枇杷島まつりにおける山車の運行を図る。
 - ・代表者 会長 高木正幸
 - ・会員等 橋詰町、問屋町、東六軒町、西六軒町、杵西町の町内会会員
 - ・主事業 尾張西枇杷島まつりにおける山車運行他